

敦賀市総合計画審議会における委員意見の反映について

【政策分野ごとの戦略】

区 分	戦 略 の 方 向 性	審 議 委 員 の 御 意 見
<p>健康福祉分野</p> <p>【世代をつなぎ暮らしやすい環境づくり】</p>	<p>子育てに関する不安や悩みを解消し、安心して子育てができる環境を整備・発信するとともに、農福連携や障がい者の緊急時における対応拠点の整備、<u>地域包括ケアシステムや健康寿命の延伸への取り組み等を推進</u>することで、「誰もが安心してずっと住み続けたい敦賀」を目指し、<u>生涯安心福祉や地域医療の充実</u>に取り組みます。</p>	<p>【第2回審議会での意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育ては楽しいだけでなく苦勞も多い。「子育てしやすいまち」を打ち出した方が良いのでは ・人口増加には育児環境充実が不可欠 ・子育てや児童・少年期にかけての支援を軸にする方向性が望ましい ・大人が感じる高齢になったときの不安と若者が感じる高齢になったときの不安への対応 ・福祉関連や地域医療は、多くの人が望んでおり、注力することは良い ・高齢者介護の負担増加による共働き世帯への影響のシュミレーションと対策の具体化 ・新型コロナ対策実行（休校、休園ほか）での気づきへの追加対策 <p>【第3回審議会での意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て期の短時間勤務の受け皿づくりなど、女性が負担なく働ける場所の整備など、『多様な子育て・働き方』の実現 ・特色ある子育て支援の実施や情報発信の強化など、敦賀の子育て支援の魅力を実感できる施策の展開

区 分	戦 略 の 方 向 性	審 議 委 員 の 御 意 見
<p>教育文化分野</p> <p>【次世代につなげる人づくり】</p>	<p>県内公立初となる施設一体型小中一貫校「角鹿小中学校」の開校をはじめとした、全市的な小中一貫教育を進めるなど、全国に誇り得る、特色ある教育環境を整えるとともに、「人道の港」のエピソードをはじめとした<u>地域の特性を活かした「学び」の機会を充実</u>することで、敦賀を次世代につなげ、支える人づくりに取り組みます。</p>	<p>【第2回審議会での意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「全国に誇る」よりも地元愛に重点をおき、ふるさと学習の推進や地域の歴史文化の習得が大事 ・地域の特性が人道の港だけでなく、史跡や神舎仏閣、歴史上の人物も掲げる必要がある ・ダイバーシティ醸成の具体化（市外からの発想・価値観の導入）を推進すべき【「戦略の推進に向けて」にて反映】 ・学校や家庭だけでなく、地域や地元企業の協力も必要で、それが地元就職にも繋がる ・敦賀の未来を担うには、敦賀を知り、良くしたいと思う子どもを増やすことが大事【「戦略の推進に向けて」においても反映】 ・大学の増設を進めるべき ・高等教育機関の拡充は財政的に困難と考えられるので、初等・中等教育に重点を置く方針が良い <p>【第3回審議会（高校生向け会議）での意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学の誘致や高等教育機関の充実に向けた施策の展開

産業観光分野

【地域と人をつなぐ

厚みのある産業づくり】

素材産業やエネルギー産業といった敦賀の強みを活かした地場産業の強化、周辺地域の産業との連携の深化により、関連企業の誘致等を推進することで、モノとエネルギーをつなぐ広域的な経済圏の形成に取り組むとともに、多様な産業を呼び込む企業誘致制度を構築するなど、「つながり」と「多様性」を重視した産業政策を展開します。

また、昨今の感染症拡大を踏まえた新たな生活様式への対応や北陸新幹線敦賀開業に向け、本市の主要産業である商業の活性化、稼ぐ産業化を推進するとともに、人道の港をはじめとした地域資源を活かした受け皿づくりを推進し、広域的な観光圏の形成に取り組みます。

【第2回審議会での意見】

<産業関係>

- ・お店や場所が継続されていくことは、未来に語り継がれていく要素として必要。50年、100年、150年と何世代もお客さんが来てくれる店がたくさん残ると良い。
- ・産業や観光において、一過性でなく、通年を通して人を呼べる施策や市内・外との交流は不可欠
- ・若者が「稼げる」まちづくりに取り組むべき
- ・子どもが敦賀で働く場所がない
- ・正社員雇用拡大に向けた環境づくり
- ・若い人や女性が安心して働けるよう貢献してくれる魅力ある企業の誘致
- ・労働者不足により、県外から人を呼び込む策をしないと更なる企業誘致は難しい
- ・エネルギー産業に特化することが過去の遺産を活かしつつ、確実な発展を促せる
- ・人口減少を重視するなら、観光よりも産業の発展が望ましい

<観光関係>

- ・新幹線敦賀開業を見据えた観光事業に最も傾注すべき
※観光ファンド・DMO等を活用し、産学官金が一体となった開発が必要
- ・新幹線開業をどのように活かすか具体策が必要
※①ニーズ把握、②ターゲット属性を見定め、近隣市町連携のパッケージ型観光プラン作成等
- ・当面の間、新幹線の終着駅となる敦賀は、嶺南全体の観光事業者との連携が望ましい
- ・観光地をつなぐことが必須
- ・近隣地域との連携（北前船、レインボーライン、年縞）
- ・観光客が一泊したくなるような敦賀ならではのブランド力を磨き上げる
- ・誘因要素の向上（月に1回は敦賀でイベントを開く、アウトレットやイオンモールの誘致）

【第3回審議会での意見】

- ・企業誘致の仕組みを見直すなど、「多様な産業」を呼び込む環境をつくり、幅広い職種の受け皿をつくる
- ・製造業やITなど幅広い産業で学生が選びたくなる魅力ある企業を誘致していく
- ・小学校から敦賀の企業や原子力を含めたエネルギーについて知る機会が必要
- ・若者のチャレンジを支援する仕組みの整備が必要（空き店舗での起業支援）

【第3回審議会（高校生向け会議）での意見】

- ・女性の夢を実現できる企業の誘致
- ・市民（若者）に向けた市内店舗の情報発信やPRを支援する施策の展開
- ・商業の活性化に向け、若者が行きたくなる店を増やす
- ・若者や他県の方にPRできるようなスポットの整備（地域資源の魅力向上）

区 分	戦 略 の 方 向 性	審 議 委 員 の 御 意 見
<p>都市基盤分野</p> <p>【未来につながる都市づくり】</p>	<p>北陸新幹線敦賀開業に向け、<u>その受け皿づくりの総仕上げ</u>を行い、広域的な観光圏・経済圏を実現する周辺地域とのネットワークの強靱化に取り組むとともに、<u>生活道路や上下水道等の生活基盤の充実</u>を図ることで、<u>交通の要衝、交流拠点にふさわしい都市づくり</u>に取り組みます。</p>	<p>【第2回審議会での意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新幹線開業で敦賀の地理的価値は一時的に上昇。この全通までにいかに発展につなげるかが重要 ・県外に出た若者が敦賀に戻りたくなるよう、駅周辺に買い物を楽しめる場所を増やす ・駅周辺だけでなく、<u>メイン通りの整備、美化、観光地へのアクセスインフラ整備が必要</u> ・若者や高齢者に対して交通手段を確保し、暮らしやすくすることも安全安心に繋がる【「安全安心分野」より転記】 <p>【第3回審議会（高校生向け会議）での意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路等の<u>市民の生活基盤の充実</u>を図る

区 分	戦 略 の 方 向 性	審 議 委 員 の 御 意 見
<p>安全安心分野</p> <p>【絆でつなぐ安全で安心なまちづくり】</p>	<p>東日本大震災や近年頻発する局所的大雨や局所的地震の発生を教訓に、笙の川の整備促進等の抜本的な防災対策や公共施設の耐震補強等の減災対策に取り組むとともに、国内有数の原子力発電所立地自治体であることや<u>昨今の感染症拡大に関する知見等を踏まえて、原子力安全対策とともに、万が一の防災体制等を整え</u>、安全安心なまちづくりに取り組みます。</p>	<p>【第2回審議会での意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「50年原子力とともに生きているまち」として、住民が原子力事業者からの安全に関する取り組みを知るだけでなく、<u>原子力発電所の歴史や原子力と地域の課題をもっと共有する必要がある</u> ※地域住民が原子力発電所のことを知らない事が多い ・原子力について、<u>住民に科学的事実に基づいた理解を得る必要</u> ・災害が起きたときに、誰でも皆、<u>安全に避難できれば良い</u> ・<u>犯罪の起こりにくい地域社会の形成や新型コロナウイルス等の予期せぬ事案への対策構築が重要</u> ・<u>新型コロナウイルスのような全国に影響を及ぼす感染症を踏まえた何らかの対応方針の追加</u> ・若者や高齢者に対して交通手段を確保し、暮らしやすくすることも安全安心に繋がる【「都市基盤分野」にて反映】

区 分	戦 略 の 方 向 性	審 議 委 員 の 御 意 見
<p>戦略の推進に向けて</p> <p>【市民とともに進めるまちづくりの深化】</p>	<p>未来につなぎ、夢と希望に満ちた、港まち敦賀の躍進を実現していく上で、敦賀市再興プランにて基本方針とした、「市民とともに進める」まちづくりをさらに深化させ、<u>様々な文化や人を受け入れ、発展してきた交流都市敦賀の特性を活かし</u>、全ての市民の皆様とともに、<u>まちへの自負心を育み、それぞれの持つ多様性を重視する中で</u>、各戦略とこれに基づく各種取組みを推進していきます。</p>	<p>【第2回審議会での意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>子どもたちと市の良いところだけでなく、問題点も共有し一緒に考える。考えを受け入れる</u> ・現在の若者が高齢になるまで暮らせるまちづくりを目指すべきであり、そのためには若者目線の意見を反映させる必要 ・歴史的・地理的・文化的に恵まれた資源と新幹線開業のアドバンテージを最大限活かすべき（※本当の意味で<u>官民一体（老若男女）となったマンパワーが必要</u>） ・<u>ダイバーシティ醸成の具体化（市外からの発想・価値観の導入）を推進すべき</u>【「教育文化分野」より転記】 ・敦賀の未来を担うには、敦賀を知り、良くしたいと思う子どもを増やすことが大事【「教育文化分野」より転記】 <p>【第3回審議会（高校生向け会議）での意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>高校生と行政、民間企業等が一体となった取組みの推進</u>